

令和7年9月（第11回）教育委員会会議議事録

1. 開催の日時及び場所

令和7年9月16日（火）18:00～18:45

市役所本庁 4階 教育委員室

2. 出席委員の氏名

田村賢二郎 委員

川崎 裕美 委員

澤田 英人 委員

3. その他議場に参加した者

濱原教育部長、中村教育次長、大石教育総務課長、島谷教育総務副課長、上田教育総務係長、叶屋学校教育課長、蔵本学校教育課指導主事、平塚学校教育課指導主事

4. 傍聴者 なし

5. 要 旨

事務局：今日は、教育長が所要のため欠席となりますので、教育長の職務代理者として田村委員が会議の進行を行うこととなります。それでは、田村委員よろしくお願ひします。

教育長職務代理：ただ今から、令和7年9月16日、第11回教育委員会会議を開催いたします。今日は、野口教育長及び重村委員が欠席ですが、出席委員数が過半数を満たしていることから会議として成立していることを最初に報告します。

教育長職務代理：はじめに、前回8月12日開催の第10回の議事録について、ご意見等ありましたらお願いします。

教育長職務代理：ないようですので、第10回の議事録について承認とさせていただきます。

教育長職務代理：次に、本日の議事録署名委員の指名についてですが、本日の会議録署名人は澤田委員にお願いします。

教育長職務代理：それでは、本日の議題は議案第10号「令和7年度全国学力・学習状況調査結果について」の1件と、その他の事項として、「みらいWalkers★Ubeについて」「小中学校適正規模・適正配置計画について」「寄附の報告について」の3件となります。また教育委員会会議は、公開を原則としていますので、本日の議題について全て公開としてよろしいですか。

教育長職務代理：異議がないようですので、本日の議題は、全て公開とさせていただきます。はじめに、「令和7年度全国学力・学習状況調査結果について」事務局から説明をお願いします。

事務局：それでは令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について、内容を説明いたします。調査期間は令和7年4月14日から17日までの間に実施しまして、学校数及び対象人数は小学校が24校、対象学年は6年生で1,246名、中学校が12校、対象学年は3年生で1,142名です。内容につきましては、小学校が国語、算数、理科、中学校は国語、数学、理科に加えて生活習慣や学

習環境等に関する質問の調査を行っています。調査結果につきましては資料の通りですが、まず小学校の国語の平均正答率は、宇部市が65に対して全国が66.8で1.8ポイントの差です。小学校の算数の平均正答率は、宇部市が55に対して全国が58で3.0ポイントの差です。小学校の理科の平均正答率は、宇部市が56に対して全国が57.1で1.1ポイントの差です。中学校の国語については、宇部市が53に対して全国の54.3で1.3ポイントの差です。中学校の数学は、宇部市が47に対して全国が48.3の1.3ポイントの差です。理科につきましては、今年からIRTスコアという新しい基準で行われていますが、これによりますと6ポイント下回っているという状況です。以上、小学校及び中学校ともに全国平均正答率やIRTについても、下回っているという結果です。説明は以上です。

教育長職務代理：ただ今の説明に対して、ご意見ご質問等がありましたらお願いします。

委員：ご説明ありましたように、小学校及び中学校について全国と比較すると、若干ポイントが下回っているという結果ではありましたが、最後の方にあります生活習慣や学習環境等に関する質問を見ますと、人が困っているときに進んで助けている、困っている時には先生や大人が助けてくれる、友人関係に満足している、地域の大人に授業や放課後等の活動に関わってもらえる、授業や学習時間などが自分に合っているなどの望ましい状況になってきていることを、子ども自身が学びや生活における良さに気付いてきています。これは数字としては表れないものですが、宇部市の取組の成果として捉えることができると思います。学力向上については、令和7年度より新たに取り組みが開始された「5分補充事業」等を有効的に活用して、計算や漢字の苦手な部分を伸ばしていく取組が有効に作用していくという風に感じました。1日当たりの学習時間が少ない事には、学校から子どもたちにも伝え、懇談等で保護者にもご説明しながら、学校・家庭で共有しながら、共通課題として取り組んでいくと良いと思います。それから、自分には良いところがあるかというこの自己肯定感についてですが、自分の良さを自分で認識できないというところがどうしてもありますが、新しく取組を始めたポジティブビヘイバーサポート（PBS）によって、自分が気づかない良さに気づき、自分を肯定的にとらえられるということが出来る子どもが育つと、この数字も改善されていくと思います。

事務局：子どもたちの学びは、今も昔も変わらず先生方と子どもたちが一緒に作っていく学びを大事にしているところです。教員はテストに出てくる最初の1問目を何とか正解にさせてあげたい。そこに、大きく熱量を入れる存在です。出来る子どもにはどんどん進めてもらい、支援の必要な子どもたちには、補充学習等を利用し大きなバックアップができるように今後も進めていきたいと思っています。

教育長職務代理：学力の底上げという部分も大きな課題だと思いますので、しっかりと取り組んで頂きたいと思います。理科は今年から始まった科目ですか。

事務局：理科は3年おきに実施しており、英語も同様数年おきに実施しています。

教育長職務代理：中学校になると若干ポイントが下がるという所は、フロンティア中学校や慶進中学校に生徒が流れてしまった結果だという分析はありますか。

事務局：私立学校のデータは事務局では持っていないので、分析はできていません。

教育長職務代理：ほかにご意見ございますか。

教育長職務代理：ないようですので、その他事項の「みらいWalkers★Ubeについて」事務局から説明をお願いします。

事務局：みらいWalkers★Ubeについて令和7年度の実施概要を説明いたします。宇部市内中学校2年生を対象として開催する職業体験イベント、みらいWalkers★Ubeはキャリア教育の一環として、働くことの意義や地元就職への意識の醸成を図るとともに、地元企業の魅力が体験できる機会の提供を目的として開催しています。特に、働く人の声を身近に感じ、働く人々との交流を通じて、地元宇部にも多くの魅力的な仕事があることを知り、宇部の魅力の再発見とともに、職業感を広げ、働くことへの憧れを膨らませてもらいたいと考えています。令和3年度から開催しておりまして、今年で5年目を迎えます。毎年中学生にも教員にも好評を得ております。ただ、今年度変更した部分がありまして、例年であれば、9月末から10月の初めに開催していましたが、この時期が台風の接近が危惧されますので、今年度は1ヶ月後ろ倒しにしています。その結果11月12日、13日という開催になっています。一昨年度からですが、すべての出店企業については、直接体験ができるブースを出展してもらっていますので、俵田体育館の会場のキャパの関係で、出展企業が30社程度がちょうどいい形と判断して、一昨年度から30社で進めているところです。体験方法は例年、参加生徒が自分自身の興味関心に応じて、自分でブースを選択し、簡単な職業体験を行い、職業についての興味を深め、地元企業への関心を深めて監修を高めてもらいたいと思っています。9月末に各学校にオンライン説明会を実施して、職業興味診断などの事前学習についても紹介する予定です。心理テストのような形で、自分の性格や特性に応じてどういった職業に向いているのかを、簡単に示した上で、それを子どもたちが理解して当日に臨むということを計画しております。事後学習については、それぞれの学校でこの体験内容をまとめることをしてもらい、次年度の改善につなげてもらいたいと考えています。

教育長職務代理：ただ今の説明に対して、ご意見ご質問等がありましたらお願いします。

教育長職務代理：昨年も同様のことを言ったとは思いますが、歯科衛生士の体験コーナーの出店があれば良いと思いますが、今からでも出店依頼は可能ですか。

事務局：はい。可能です。当日出展できないという返事をいただいた業者もありますので、委託事業者と相談しながら調整できます。医療系では、看護関係のブースが出店しますが、生徒の事前アンケートによると、医療、心理、福祉の仕事が人気ですので、ぜひ、出展していただきたいと思います。

教育長職務代理：分かりました。山口県の歯科衛生士会が担当になると思いますので、是非連絡をしてみてください。

教育長職務代理：ほかにご意見ございますか。

委員：今年度は赤間硯の体験ブースがありませんが、宇部市の伝統工芸品にこそ興味を持っている子どももいましたので残念です。全国どこでもできる職業も大事ですが、宇部市ならではの伝統工芸品のようなブースがあれば嬉しく思います。

教育長職務代理：旧学芸員などでワークショップ等をしてもらえる方もいらっしゃるかもしれませんが、良ければ探してみてください。

教育長職務代理：ほかにご意見ございますか。

教育長職務代理：ないようですので、その他事項の「小中学校適正規模・適正配置計画について」事務局から説明をお願いします。

事務局：9月2日に開催しました西岐波中学校区の第2回地域協議会についてご報告します。こちらの協議会における「適正規模・適正配置計画」の内容は、現在、常盤小学校に通う児童は、西岐波中学校・常盤中学校の2つの中学校に進学していますが、小中一貫教育を推進するため、常盤小学校に通う児童全員が西岐波中学校に進学するというものです。この計画に対し、現在、常盤中学校へ進学している地域住民の方々から様々なご意見をいただいています。このような中、先月、計画の再考と柔軟な対応を求める「署名」が、市長と教育長充てに再編の対象となる8つの自治会のうち、5つの自治会から提出されました。これらを踏まえ、今回の地域協議会では、会長より、次のとおり4つの計画を実行するための方針（案）が示されました。①現在の市の計画通り進めていく。②常盤中学校への進学を希望する地区（則貞・亀浦）を現在の常盤小学校区域から、恩田小学校区域に変更する。③常盤中学校、西岐波中学校の「中学校の選択制」を導入する。④当面、市の計画スケジュールを延期する。さらに、この4つの案について、メリットとデメリット、あわせて計画を実行するための市と地域の対応策を示した上で、計画の影響をうける8つの自治会の地域住民に「ありたい姿（先ほどの4案）」を選択してもらったかどうかという提案が会長からあり、協議会で承認されました。これを受けて、西岐波中学校地域協議会内に、計画の影響をうける常盤小学校区の委員7人で構成する「専門部会」を設置することとなりました。今後、専門部会において、計画の影響をうける常盤地区内の8つの自治会の地域住民の「ありたい姿」を聞き取り、実行計画の方針（案）を決定し協議会へ報告する予定です。以上で9月2日に開催した西岐波中学校区地域協議会の報告を終わります。

教育長職務代理：ただ今の説明に対して、ご意見ご質問等がありましたらお願いします。

教育長職務代理：協議会内で、反対派の委員の意見に左右されることはないですか。

事務局：協議会内の委員の中にも、この度の計画に対し反対・賛成のご意見をお持ちの方々もいらっしゃると思いますが、会長が中立的な立場で進行していただきますので、特定の委員の意見に左右されることはありません。

教育長職務代理：ほかにご意見ございますか。

教育長職務代理：ないようですので、その他事項の「寄附の報告について」事務局から説明をお願いします。

事務局：8月の寄附について報告します。令和7年8月8日匿名の方から、平成24年

度から通算して１６０回目になる５千円の寄附を交通遺児のためとしていただきました。報告は以上です。

教育長職務代理：議題については以上になりますが、他に委員の皆様から何かあればお願いいたします。

教育長職務代理：ないようですので、以上をもちまして本日の会議を終了します。